

2025年度（9月出発）学術交流協定に基づく 派遣学生募集要領

国際交流センター

本学と学術交流協定大学との留学生交流の一層の充実を図り、相互の教育・研究水準の向上に資すると共に、両国間の相互理解と友好親善を増進することを目的とし本学と学術交流協定を締結している海外の大学への私費派遣学生を下記のとおり募集します。

記

1. 募集人数と派遣期間

募集人数：若干名

派遣期間：2025年9月から2026年3月までに開始し、6か月以上12か月以内。

2. 派遣留学の内容

本学と学生相互派遣学術交流協定を締結している海外の大学において開講されている授業を聴講し、単位を取得します。

※英語圏以外の協定校では、現地語で開講される授業の他に英語で開講されている授業がありますが、全ての分野・科目が英語で開講されているとは限らないので、ご注意ください。

3. 学籍上の取扱いと授業料

室蘭工業大学学則第39条、大学院学則第21条に基づく「留学」となります。

（「留学」の届出を提出し、留学期間中の授業料を本学に納付します。留学期間は在籍期間に算入します。）

派遣先大学では非正規生（学位取得を目的としない学生）となります。両大学間の授業料相互不徴収協定により、派遣先大学での授業料は免除されます。

4. 単位認定

留学先で取得した単位は、成績証明書と授業の詳細がわかる資料を提出することにより、本学で取得した単位として認定（単位互換）されることがあります。（本学で未取得の相当科目がある場合のみ）

5. 応募資格及び条件

本学の正規の課程に在学する「学部学生」及び「大学院生」で次の要件を満たす者。

- ① 学業成績優秀者（原則、成績係数2.3以上（注1））
- ② 留学の目的及び計画が明確で、海外での留学で効果が期待できる者。
- ③ 留学期間終了後再び本学に戻り、勉学を続ける者。
- ④ 応募時点において原則として、TOEICスコア430点、実用英検2級相当以上の英語力を有する者。もしくは、TOEFLやIELTS等他の英語能力試験により上記と同等以上の英語力を有する者。

注1）成績係数の算出方法：CAMPUS SQUAREで示されるGPAとは異なるので注意すること。

A(100-80)、 B(79-70)、 C(69-60)、 D(59-00)

成績係数 =
$$\frac{(Aの単位数 \times 3) + (Bの単位数 \times 2) + (Cの単位数 \times 1) + (Dの単位数 \times 0)}{総登録単位数}$$

注2）協定校で授業聴講に必要な英語レベル

概ね TOEIC 750、IELTS(Academic) 6.0、TOEFL iBT(Internet Based Test)80

※協定校ごとに英語レベル指定があります。英語力が協定校指定レベルに達していない場合は、協定校側の受入れ審査で受入れが認められない場合があります。

6. 応募方法

①応募締切：2025年2月5日(水)17:00

②指導教員及び国際交流センター教員に事前相談した上で、次のオンライン申込みフォーム(Moodle)から応募ください。

<https://kokusai.muroran-it.ac.jp/course/view.php?id=54#section-1>

7. 学内選考及び最終的な派遣決定

(学内選考)

応募者全員に対して面接を実施し、提出書類と総合して判断のうえ、派遣留学候補者を決定します。面接日時等は、応募締め切り後に応募者に直接通知します。

(最終決定)

派遣留学候補者決定後、協定校へ申請手続きを行い、協定校が受入れの最終決定を行います。各協定校が受入れ要件として求める語学レベルに達していない場合等、受入れが認められないこともあります。受入れ先大学から受入決定通知があった時点で、正式に派遣留学生として決定します。

8. 派遣学生の提出書類

派遣留学が決定した学生は、次の書類を提出します。

(1) 派遣出発前 提出先：学務課教育支援係

①留学願(本学学長あて)

②派遣先で履修する授業科目名又はプログラム名が分かる書類

③上記②に係るシラバスに相当する書類

※②及び③の書類は、派遣前に本学の単位読替科目や卒業研究又は特別研究の一部とすることを確認するために提出を求めます。

※派遣先の活動内容が本学の卒業研究又は特別研究の一部とする場合は、上記の書類の他、追加書類を依頼する場合があります。

(2) 留学終了後 提出先：入試戦略課国際交流室①及び学務課教育支援係②

①留学報告書

②受入大学の成績証明書(単位を取得した場合)

※上記の他、取得単位やプログラムに応じて、追加書類を依頼する場合があります。

9. 留学費用と室蘭工業大学奨学金

派遣学生の渡航・勉強・生活費等の留学に要する費用は、自己負担となります。

なお、学内選考における上位の者に下記により奨学金を支給します。

室蘭工業大学派遣留学・語学研修支援制度 月額6万円～8万円

10. 派遣留学の対象となる交流協定校

授業料相互不徴収協定により派遣先大学の授業料が免除になる大学は以下のとおりです。

(注1 一部の大学において授業料相互不徴収協定がないため、個別協議が必要)

大韓民国	忠南大学校、安東大学校、釜慶大学校、ソウル科学技術大学校、韓国海洋大学校、東義大学校、江原大学校、清州大学校、韓国交通大学校
中華人民共和国	河南理工大学、北京科技大学、瀋陽工業大学、華中科技大学、蘇州大学、内モンゴル師範大学、曲阜師範大学、上海交通大学コンピュータサイエンス学科、大連理工大学、天津大学・知能計算学部
台湾	大葉大学、国立台中科技大学、国立台湾大学・電気情報学部、

モ ン ゴ ル	台湾・国立勤益科技大学、国立屏東大学
タ イ	工業技術大学 チェンマイ大学、キングモンクット工科大学ラカバン校、 泰日工業大学、ナレスアン大学、キングモンクット工科大学北バンコク校、 メーファールアン大学
ベ ト ナ ム	ハノイ建築大学
イ ン ド ネ シ ア	北スマトラ大学
マ レ ー シ ア	トゥンクアブドゥルラーマン大学、マレーシア工科大学（注1）
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学
ド イ ツ	ダルムシュタット工科大学電気情報工学部、ロストック大学、 ツヴィッカウ応用科学大学、フライベルグ工科大学
フ ラ ン ス	トロワ工科大学
イ ギ リ ス	ストラスクライド大学
ポ ー ラ ン ド	AGH科学技術大学（注1）
ハ ン ガ リ ー	ミシュコルツ大学機械工学・情報学部
オーストリア	レオベン大学
イ タ リ ア	ジェノバ大学
フィンランド	アールト大学電気工学部（注1）、 東フィンランド大学理学・森林学部
ウ ク ラ イ ナ	プリアゾフスキー国立工科大学（注1）
ロ シ ア	極東連邦大学
ブ ラ ジ ル	パラナ連邦工科大学
イ ン ド	カルカッタ大学応用光学・フォトニクス学科
ネ パ ー ル	トリブバン大学PNキャンパス（注1）

11. 受入れ先大学における経費等（本学学生を派遣した経験のある大学の場合）

各大学の留学中における諸経費の参考額は次のとおりです。

（1）オーストラリア・ロイヤルメルボルン工科大学

授業料 なし

最初にかかる費用 約180,000円（敷金、最初の家賃、家具など）

生活費（月額） 約80,000円（食費、その他必要経費）

保険料（月額） 約10,000円

HPアドレス <http://www.rmit.edu.au/>

（2）ドイツ・ロストック大学

授業料 なし

宿舍費（月額） 約33,000円（学生寮、入居時のデポジットあり、3人部屋）

生活費（月額） 約80,000円（食費、その他必要経費）

保険料（月額） 約10,000円

HPアドレス <http://www.uni-rostock.de/>

（3）フランス・トロワ工科大学

授業料 なし

宿舍費（月額） 約45,000円（学生寮）

生活費（月額） 約70,000円（食費、その他必要経費）

保険料（月額） 約10,000円

HPアドレス <https://www.utt.fr/>

（4）台湾・台中科技大学

授業料 なし

宿舍費（月額） 約9,000円（学生寮）

生活費（月額）	約60,000円（食費、その他必要経費）
保険料（月額）	約10,000円
HPアドレス	https://www.nutc.edu.tw/bin/home.php

12. その他

- (1) 応募者が渡航する時点で、渡航国・地域に関する外務省「海外安全ホームページ」の危険情報及び感染症危険情報がレベル1以下であることを条件とします。
- (2) 提出書類の情報は、派遣者選考、奨学金選考、海外危機管理サービス及び海外旅行保険の加入手続き、派遣先本学学術交流協定校の出願手続き、派遣留学の円滑な実施及び派遣留学終了後の報告会や説明会等の為にのみ使用し、その他の目的には使用しません。